

成果の説明書

(氏名) 佐藤 徹	(学部) 地域政策学部
1 重要事項	
A. 教育	
(1) 政策科学 (前期)	
政策科学の登場と歴史的背景、政策分析の手法に加え、できるかぎり具体的なテーマや事例を数多く取り上げ、政策科学の意義と本質について受講生自身が考えるように工夫した。また、受講生がすすんで発言しやすい環境づくりにつとめ、授業進行と同時にスマホ・PC から質問したりできるなど双方向型の授業となるように工夫した。	
(2) 行政学 (前期)	
行政学の基礎理論を修得するとともに、現実の行政にも関心が持てるように講じた。受講生がすすんで発言しやすい環境づくりにつとめ、授業進行と同時にスマホ・PC から質問したりできるなど双方向型の授業となるように工夫した。	
(3) 基礎演習 (後期)	
ゼミ生全員で行政学・公共政策・地方自治に関する基本書をもとに、基礎的知識の修得をめざした。単なる輪読ではなく、ワールド・カフェ方式によるグループ討論をおこなった。また、ゼミ生どうしの親睦や交流を深めることに努めた。	
(4) 政策評価論 (後期)	
政策評価に関する基礎理論について講じるとともに、政府および自治体における政策評価の最新動向や具体例を取り上げながら、受講生が政策を評価する際の視角や能力を養えるように努めた。	
(5) 演習 I (通年)	
ゼミ生たちが議論を通じて共通の研究テーマを探索・検討するとともに、関連文献・資料の調査を行い、収集した情報の整理分析に取り組めるよう指導した。まちづくり指標に関する現状と課題を調査するため、埼玉県庁への訪問調査を行い、県の担当者との質疑応答を通して、学生たちがより理解を深められるようにした。	
(6) 演習 II (通年)・卒論指導	
ゼミ生たちが先行研究の検討整理や自治体へのインタビュー調査等を行ったり、アンケート調査結果をもとに統計分析を行ったりして、各人のテーマに沿った質の高い卒業論文が執筆できるよう指導した。	
(7) 政策評価特論 (大学院)	
政策評価に関する理論と実際についてバランスよく講じるとともに、受講生の理解がさらに深まるよう、議論を重視した授業を展開した。	
(8) 修士論文の指導等 (大学院)	
修士論文について指導を行うとともに、学会誌への論文投稿についても指導した。	
B. 研究	
(1) 著書・論文等	
・ 佐藤徹「VUCA 時代の行政計画」(特集 VUCA 時代の自治体政策と組織)『月刊ガバナンス』(253), pp.20-22, 2022年5月	
・ 佐藤徹「わが国の自治体における EBPM の展開と動態—黎明期における実態分	

析を通して」『季刊行政管理研究』(179),pp4-16,2022年9月

- ・ 北川公啓, 佐藤徹「地区社会福祉協議会の経営上の問題点に関する研究—前橋市における地区社協役員と社協職員の意識調査から」『日本地域政策研究』(29),pp 58-67, 2022年9月
 - ・ 佐藤徹「エビデンスに基づく自治体政策の要諦—EBPMをどのように推進すればよいか」『月刊地方自治みえ』(364), pp.1-4, 2022年10月
 - ・ 佐藤徹「まちづくりへの参加と対話は人々にどのような変化をもたらすのか—まちづくりワークショップにおける対話の効果に関する研究デザイン」『日本地域政策研究』第30号、pp.4-13、2023年3月
- (2) 学会・研究会報告
- ・ まちづくりワークショップにおける参加者の意識および行動の変容分析—量的研究を中心に、日本地域政策学会全国大会、2022年6月25日、オンライン開催
 - ・ 地方自治体における政策評価とEBPMの一体的推進に関する考察、日本評価学会第23回全国大会、2022年12月11日、オンライン開催
 - ・ 中心市街地活性化施策のインパクト評価の自治体行政への適用可能性と課題—高松市中心市街地活性化基本計画のケーススタディー、中心市街地活性化研究プロジェクト、高崎経済大学地域科学研究所、2023年3月19日、オンライン開催
- (3) 学会活動
- ・ 日本評価学会の理事、日本協働政策学会の理事、地方行政実務学会の理事など。各種学会や研究誌の論文査読を多数おこなった。
 - ・ 日本地域政策学会のプロジェクト研究『地域を変える話し合いについての多層的研究』を推進した。
- (4) その他
- ・ 地域科学研究所プロジェクト「地方都市中心市街地研究—人口減少時代におけるまちづくり—」「現代の地域におけるリーダーシップのあり方の研究」
 - ・ 研究奨励費を得て所定の研究活動を遂行した。

C. 社会貢献

(1) 公職

- ・ 内閣府本府：政策評価有識者懇談会委員（2021年5月～現在）
- ・ 群馬県：行財政改革評価・推進委員会委員長（2010年9月～現在）
- ・ 埼玉県：EBPM有識者会議委員（2022年5月～現在）
- ・ 埼玉県戸田市：外部評価委員会委員長（2011年9月～現在）
- ・ 埼玉県桶川市：協働審議会会長（2011年9月～現在）
- ・ 埼玉県上尾市：地域創生総合戦略審議会会長（2015年9月～現在）
- ・ 環境省環境研究総合推進費「ローカルSDGs推進による地域課題の解決に関する研究」アドバイザー（2021年4月～現在）
- ・ 日本都市センター 都市調査研究グランプリ（CR-1 グランプリ）選考委員（2022年6月～2023年3月）

(2) 招待講演・研修講師等

- ・ 理論編：自治体における「ロジックモデル」を活用した政策評価の効用、国際医療福祉大学・乃木坂スクール：医療・介護・福祉の計画を策定・評価・改善する～EBPMに向けたPDCA確立のために、2022年6月10日、国際医療福祉大学、招待講演

- ・ 自治体における政策企画の考え方～ロジックモデルを学ぶ、第34期全国地域リーダー養成塾、2022年7月14日、一般財団法人地域活性化センター、招待講演
- ・ エビデンスに基づく自治体政策(政策評価ワークショップ)、政策立案・EBPM研修、2022年9月29日・30日、長崎市、研修講師
- ・ エビデンスに基づく自治体政策、EBPM研修、2022年10月11日、埼玉県、研修講師
- ・ エビデンスに基づく政策形成演習、上尾市(埼玉県)主査級研修(第II課程)、2022年10月27日・28日、研修講師
- ・ エビデンスに基づく政策立案・政策評価、政策評価演習(選択研修)、2022年11月10日・11日、岐阜県職員研修所、研修講師
- ・ エビデンスに基づく自治体政策、東毛4市(桐生市・太田市・みどり市・館林市)合同職員研修、2022年11月24日・25日、自治体職員研修講師
- ・ エビデンスに基づく自治体政策、ロジックモデル研修(第1回;部長・次長級)、2023年1月12日・13日、鹿嶋市(茨城県)、研修講師
- ・ エビデンスに基づく自治体政策、ロジックモデル研修(第2回;課長級)、2023年1月26日・27日、鹿嶋市(茨城県)、研修講師
- ・ 自治体における政策企画、専門実務課程「政策企画」 2023年1月31日・2月6日、市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)、研修講師
- ・ ロジックモデルによる政策立案・評価、専門実務課程「事業推進のためのデータ活用」、2023年3月7日・10日、市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)、研修講師
- ・ エビデンスに基づく自治体政策、EBPM研修(部長・課長級対象)、2023年3月23日、宗像市(福岡県)、研修講師

D. 学内業務

- ・ 教育研究審議会委員、キャリア支援センター長、サステナビリティ委員会脱炭素ワーキンググループ座長をはじめとして各種業務を積極的に推進した。

2 その他の事項

- ・ 2022年11月14日、第7回公務員志望者のためのレクチャーミーティングをゼミ生とともに開催した。現職の自治体職員3名を講師として大学に招聘し、公務員の仕事の魅力、苦勞、将来展望などについて講話をいただき、参加した学生たちと質疑応答をおこなった。
- ・ 代表をつとめる自治体政策経営研究会のロジックモデル研究ユニットにおいて、全国各地の自治体職員とともにオンラインにて調査研究を進めた。
- ・ 群馬県、千葉県、東京市町村自治調査会からの依頼で政策助言を行った。

3 次年度以降の計画・抱負

科研費研究をはじめとして、EBPM研究のさらなる推進と論文執筆に向けて精力的に取り組みたい。また、学部及び大学院における教育指導に、より一層、注力したい。